

行を人倫行に吸收する。其處に現状維持に満足するヘーゲルの樂天觀があると言へよう。

尙ヘーゲルに關して國家と世界史との聯關、民族の没落と哲學の成立、及び時間論等に就いて種々問題を論ずべきであるが、今迄の敘述に於て根本問題に關する一應の考察を終る事とする。(完)

彙報

寄贈圖書

五十嵐達六郎譯

ベルグソン アリストテレスの場所論

東京 伊藤書店  
定價 一四六十錢

寄贈雜誌

二月號 社會學徒、文化、一

三月號 法學、哲學雜誌、回教週報、一橋論叢、經濟論叢、東洋

史研究(八ノ五・六)

四月號 政治、丁酉倫理講演集、思想、全人、哲學雜誌、法華、

法學、宗教研究(六ノ一)、回教週報、同教園、一橋論叢

五月號 丁酉倫理講演集、政治、史林(二九ノ二)、全人、法華

前 號 目 次

國家と世界(卷一)……………木村素衛

—一つの斷章—

教行信證に於ける教の概念(前)……………武内義範

ヘーゲル哲學の根本問題に就ての省察(前)……………上田泰治

—現實の論理 第二部—

國家と世界(卷一)……………木村素衛
—一つの斷章—
教行信證に於ける教の概念(前)……………武内義範
ヘーゲル哲學の根本問題に就ての省察(前)……………上田泰治
—現實の論理 第二部—